

個人情報の保護に関する諸問題

05L4086 林 拓人

1. 個人情報保護法

「個人情報」とは個人ひとりひとりに関する情報である。1995 年 10 月 24 日、「EU 個人保護指令」が採択されると、わが国でも個人情報保護法制定の機運が高まり、2003 年 5 月に個人情報保護関係 5 法案が制定・公布された。

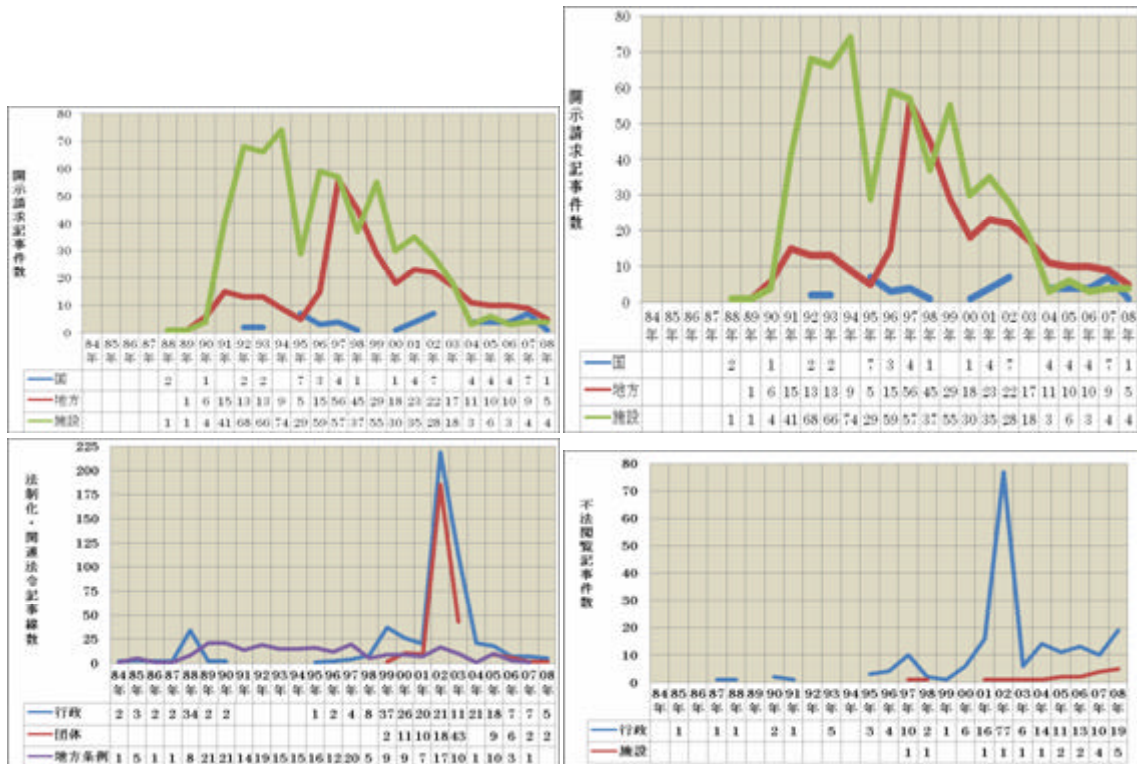
2. 個人情報保護に関する新聞記事の解析

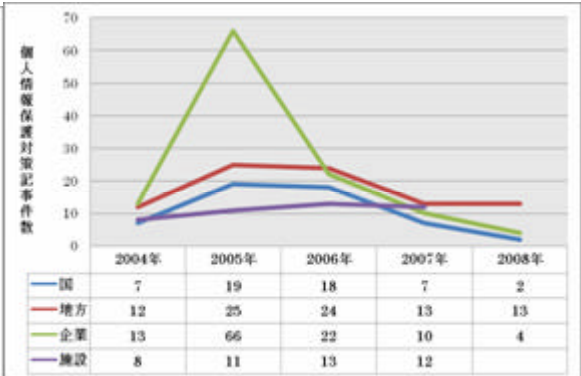
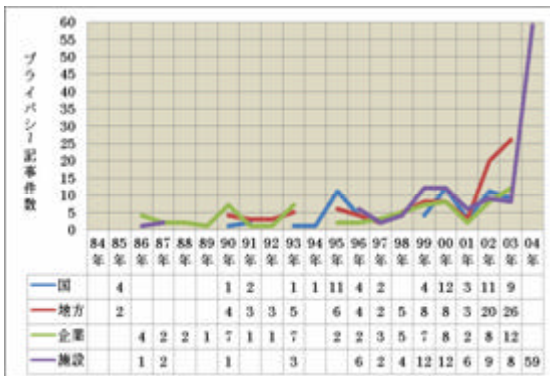
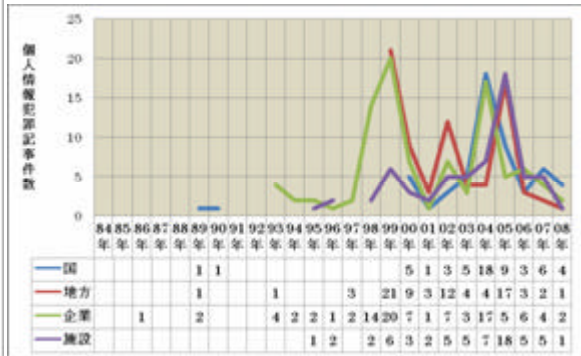
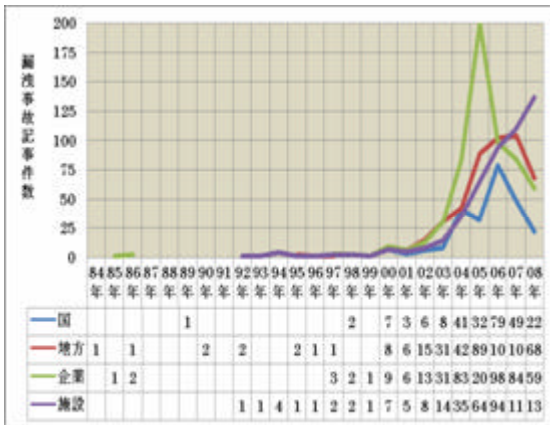
朝日新聞 1984 年 8 月 17 日から 2008 年 11 月 28 日 (9696 件) の記事を検索し、「発信元」と「内容」の 2 つのカテゴリに基づいて分類した。

発信元カテゴリ: 国、地方自治体、企業・団体、学校・病院

内容カテゴリ: 開示請求、法制化・関連法令、地方条例、不法閲覧、漏洩事故、個人情報犯罪、過剰反応、プライバシー/保護対策

発信元カテゴリ別と内容カテゴリ毎の記事件数の推移は次のとおり





3. 考察

個人情報保護に関する新聞記事全体は1998年頃から上昇を始め、法案が審議された2002年以降は大幅に増加していることがわかる。その後情報漏洩等「漏洩事故」に関する記事が急上昇し、「プライバシー」に関する記事も上昇している。

「個人情報の開示請求」に関する記事は1992-2000年頃は年間100件以上もあったが、2004年以降は年間10-20件と少なくなっている。「個人情報の不法閲覧」に関する記事は、「君が代」不起立者等いわゆるセンシティブデータの収集が相変わらず行われていることを反映して、2002年のピーク時以降も年間20件程度ある状態である。「個人情報に関する漏洩事故」に関する記事は「企業・団体」は2005年、「地方公共団体」では2007年をピークに漏洩事故の記事件数は減少傾向にあるものの、反比例して「学校・病院」での事故が徐々に増加している。「個人情報保護に対する過剰反応」については2004-2005年に多数報じられたが、それ以降はやや減少している。「個人情報保護からの逸脱」については2005年よりコンスタントに報じられており、2007年にはピークを迎えている。「プライバシー」に関しては、2004年まで増加傾向にある。

3. おわりに

長期間(24年分)にわたり新聞記事を分析することにより、個人情報に関する事件の発生動向、世間の関心の動向を知ることができた。